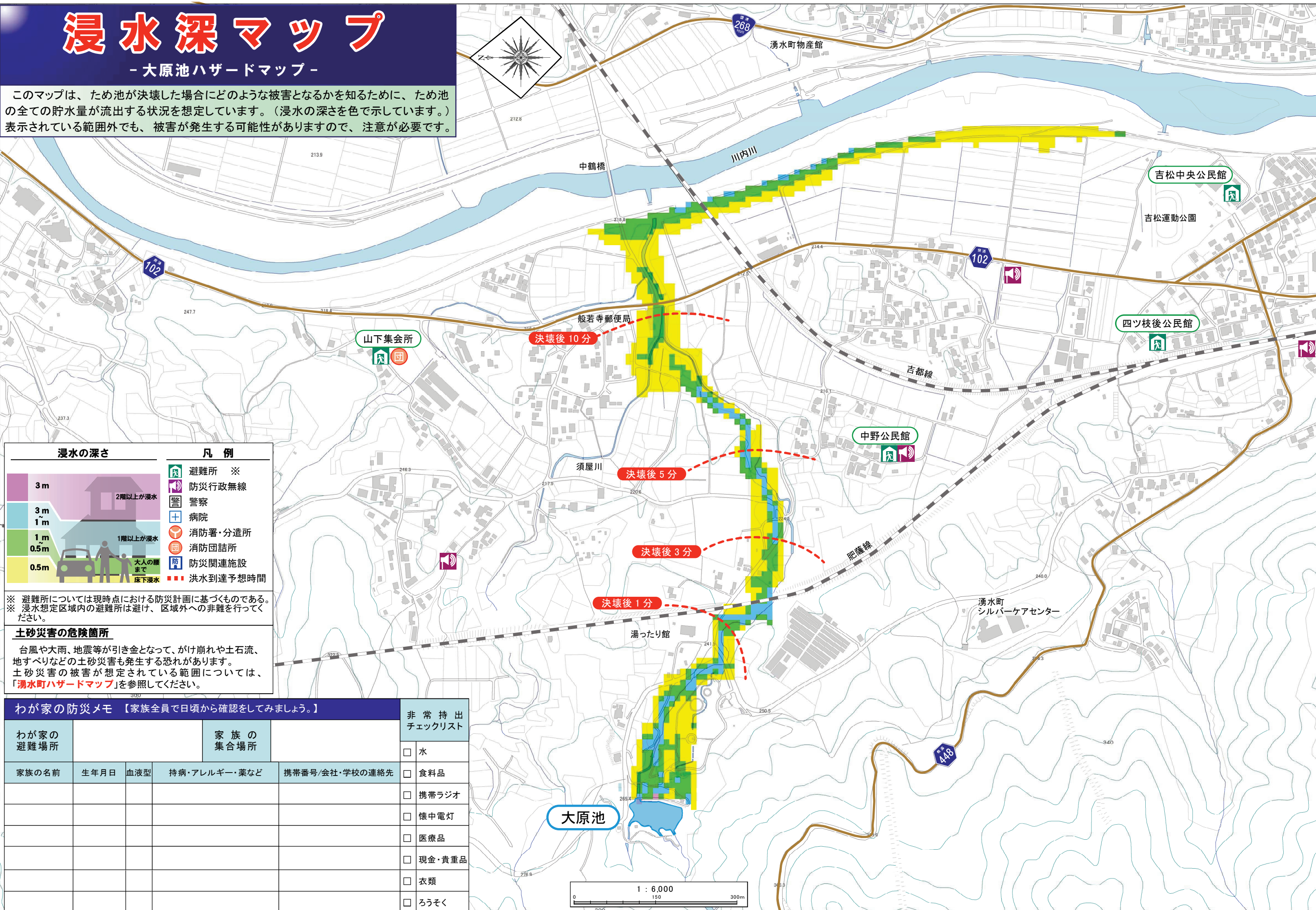


浸水深マップ

- 大原池ハザードマップ -

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、ため池の全ての貯水量が流出する状況を想定しています。(浸水の深さを色で示しています。)表示されている範囲外でも、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



浸水の深さ

3m	2階以上が浸水
3m ~ 1m	
1m	1階以上が浸水
0.5m	大人の腰まで
0.5m	床下浸水

凡例

- 避難所 ※
- 防災行政無線
- 警察
- 病院
- 消防署・分遣所
- 消防団詰所
- 防災関連施設
- 洪水到達予想時間

※ 避難所については現時点における防災計画に基づくものである。
 ※ 浸水想定区域内の避難所は避け、区域外への非難を行ってください。

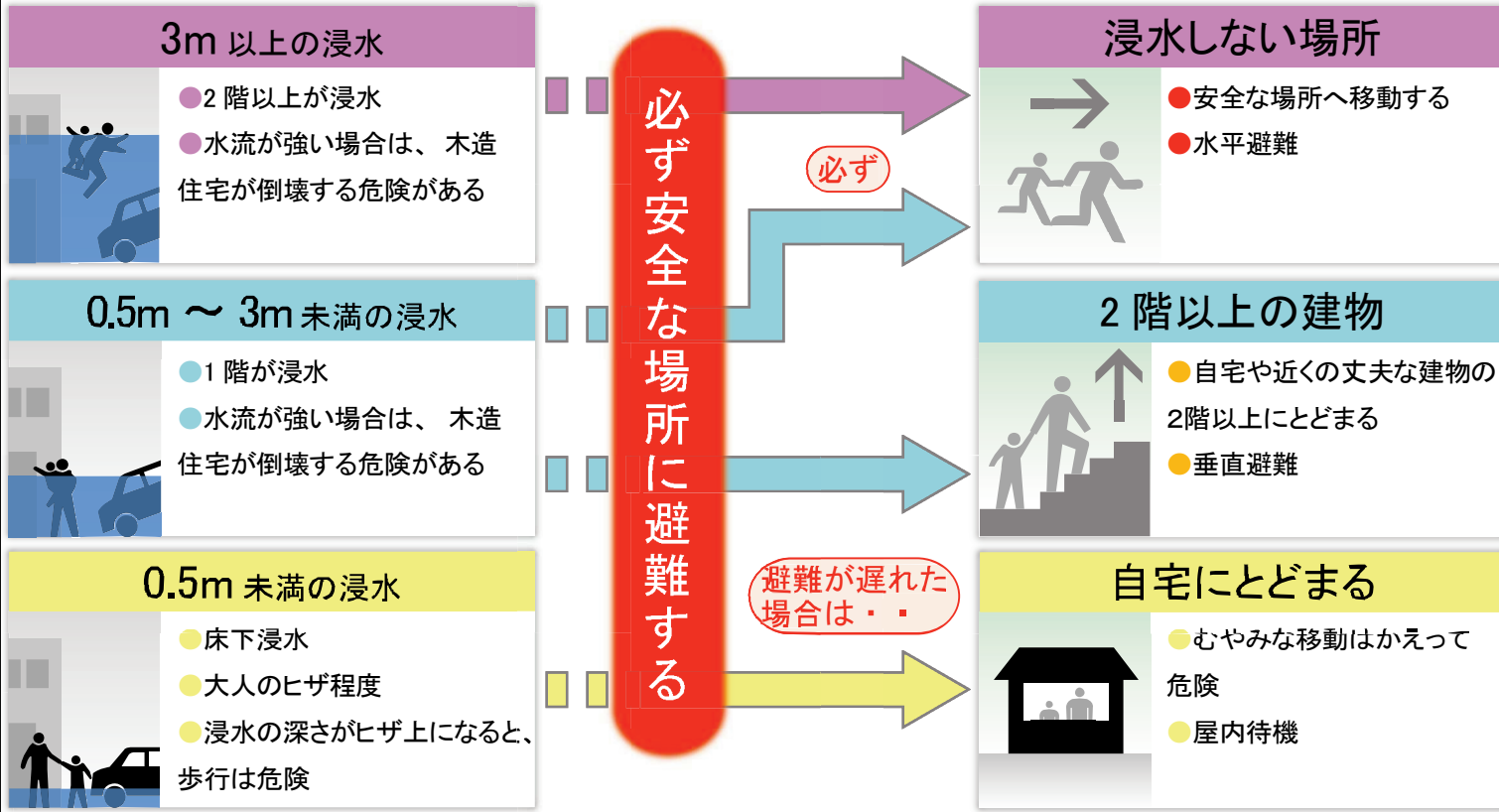
土砂災害の危険箇所

台風や大雨、地震等が引き金となって、がけ崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害も発生する恐れがあります。土砂災害の被害が想定されている範囲については、「湧水町ハザードマップ」を参照してください。

わが家の防災メモ 【家族全員で日頃から確認をしましょう。】

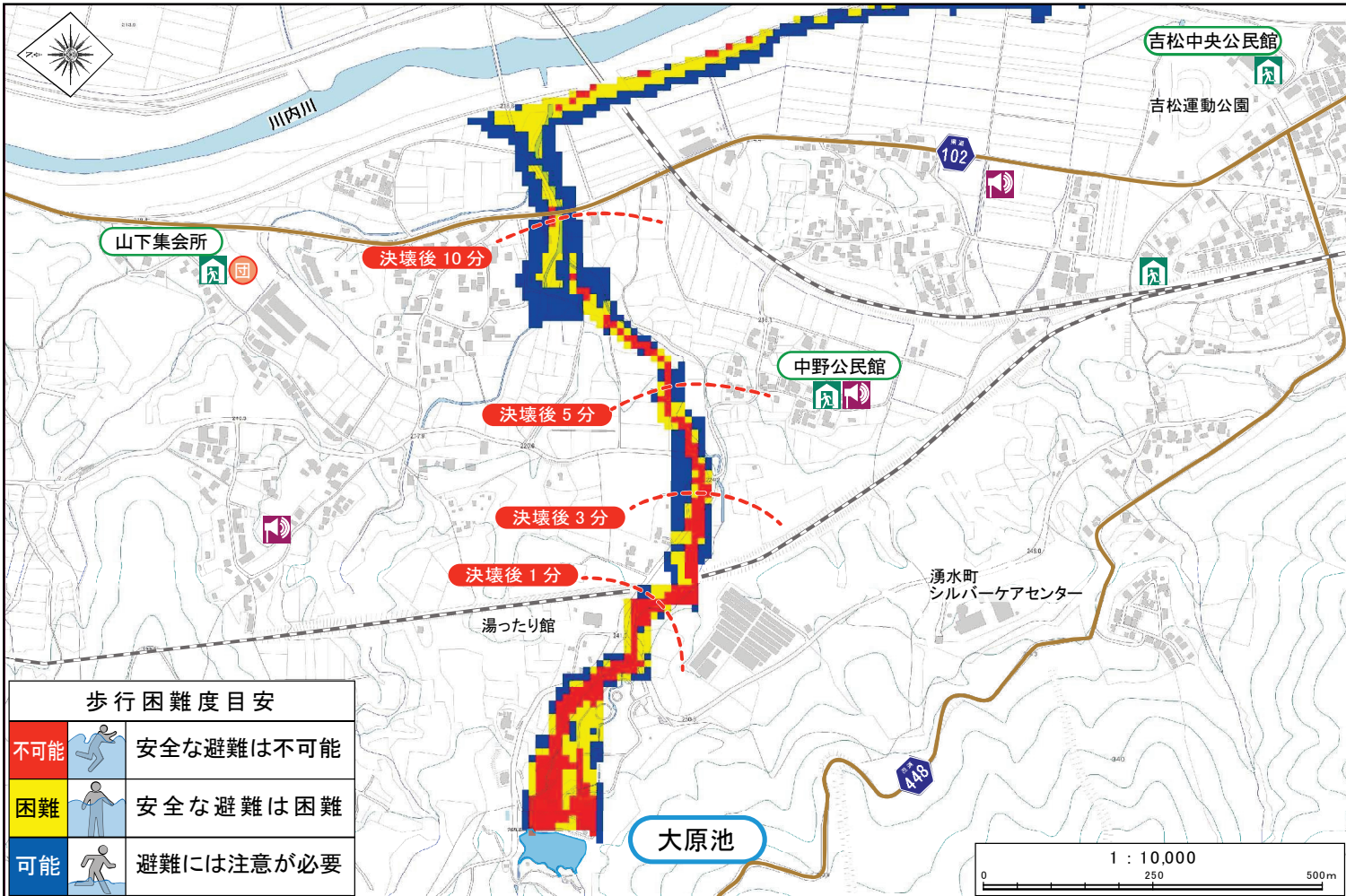
わが家の避難場所	家族の集合場所	非常持出チェックリスト
家族の名前	生年月日	<input type="checkbox"/> 水
血液型	持病・アレルギー・薬など	<input type="checkbox"/> 食料品
携帯番号/会社・学校の連絡先		<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
		<input type="checkbox"/> 懐中電灯
		<input type="checkbox"/> 医療品
		<input type="checkbox"/> 現金・貴重品
		<input type="checkbox"/> 衣類
		<input type="checkbox"/> ろうそく

避難勧告等が出されたら速やかに避難しよう



歩行困難度を確認しよう

● 浸水の深さと流速の関係から、「歩いて避難することが困難な場所」を示しています。特に赤色、黄色は歩行が困難となるため、避難勧告等が出されたら必ず避難してください。

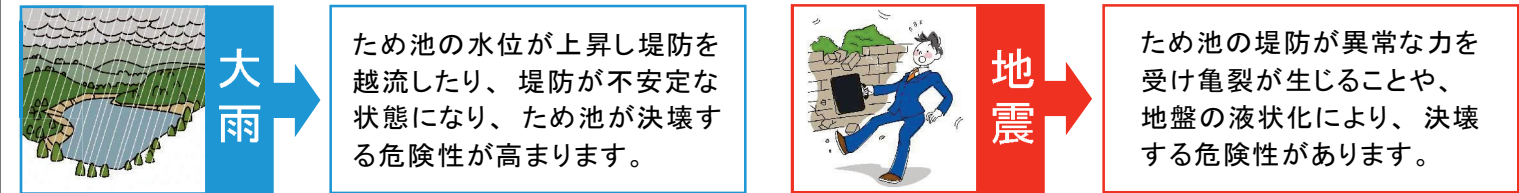


大原池ハザードマップ

【問合せ先】 湧水町役場 0995-74-3111

ため池ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊するおそれのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するもので、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上を図るとともに災害時における被災の低減を目的としています。

ため池決壊について知ろう



行政からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう

● 避難情報には緊急度に応じて3つの種類があります。

種類	発表時の状況	みなさんがとるべき行動
避難準備 高齢者等 避難開始	地域または土地、建物などに災害が発生するおそれがある状況です。	◇避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。 ◇そのほかの人は、避難の準備を整えましょう。
避難勧告	地域または土地、建物などに災害が発生する可能性が高まった状況です。	◇速やかに避難場所へ避難をしましょう。 ◇外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。
避難指示 （緊急）	状況がさらに悪化し、避難すべき時期が差し迫った場合、または災害現場に残っている住民がいる場合に発表します。	◇まだ避難をしていない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。 ◇外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。
<p>防災行政無線 サイレン・鐘 広報車 有線放送 テレビ・ラジオ メール・ホームページ 等</p>		住民のみなさん

避難行動の心得を確認しよう

避難する前に

ガスの元栓・電気ブレーカーをチェック

確認!

避難は徒歩で

決められた避難所へできるだけ集団で避難
非常持ち出し品を忘れずに

協力し合って

避難するときは、近所のお年寄りや障がい者などに声かけ協力

安全なルートで①

避難するときは、地すべりやがけ崩れなど土砂災害のおそれのある箇所は避ける

安全なルートで②

避難するときは、高い道路を選び、水路などに十分注意

NTT災害用伝言ダイヤル

伝言の録音 171+1+被災地の方の電話番号 → 録音

伝言の再生 171+2+被災地の方の電話番号 → 再生